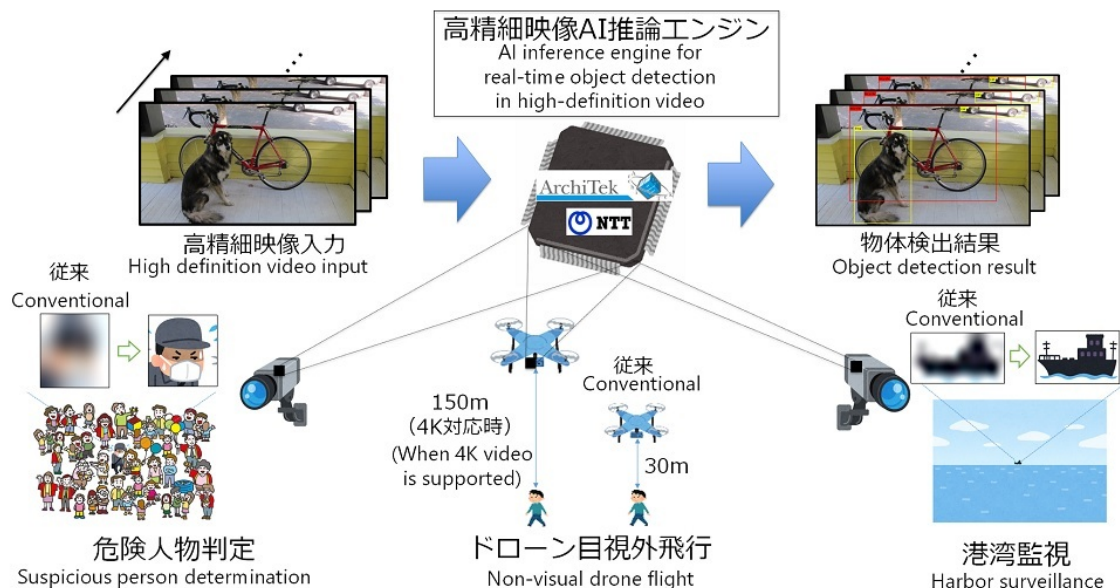




広範囲の物体を1台のカメラで1度に検出可能にします

概要

ドローンや監視カメラなどのエッジ/端末AIアプリケーションでは、電力や重量の制約から、1台のカメラで広範囲の物体を1度にリアルタイムで検出することが求められます。そのため、NTTでは画角の広い高精細映像からのリアルタイム物体検出を低電力で実行可能にするAI推論エンジンの研究開発に取り組んでいます。



特徴

- AI推論手法による解像度制約を高精細映像 (e.g.フルHD) にまで拡張する技術
- 上記技術のリアルタイム実行を可能にするハードウェア・エンジン

利用シーン

- ドローンの飛行ルート下の通行人、人混みの中の危険人物や港湾での不審船などの検出
- 上記検出後、イベントドリブンで必要部分をデータ圧縮してクラウドに送信して詳細判定

今後の展開

- 本技術を基に、AI推論エンジンのさらなる低電力化・高スループット化を進め、1チップでの超高精細映像 (4K) 対応化をめざします。

コラボレーションパートナー

- ArchiTek株式会社の画像処理回路技術と、NTTのAI処理回路技術とを組み合わせ、高効率かつ低電力なリアルタイムAI映像処理を実現します。

出展社

日本電信電話株式会社

問い合わせ先：
rdforum-scl-ml@hco.ntt.co.jp